

※本資料は記載例です。

記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式4の2】

|           |           |
|-----------|-----------|
| 受験番号兼申請番号 | 医・歯・技・心・看 |
|-----------|-----------|

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 xxxx 年 xx 月 xx 日

|      |  |
|------|--|
| 症例番号 |  |
|------|--|

医療機関：●●

ID 番号：●● 28 歳 男性 会社員

主訴及び主症状：重要な会議中でも眠り込んでしまう。

診断：特発性過眠症

既往歴：特記所見なし

家族歴：特記所見なし

現病歴：中学生ごろから授業中はずっと寝ており、定期試験の最中にも眠ってしまうこともあった。24 歳で新卒入社後も研修や会議の際の居眠りが目立っていた。生活習慣を改善しても日中の眠気は改善せず、職場の重要な会議でも眠り込んでしまったため、上司に指示され前医を受診した。前医で症状を話した結果、ナルコレプシーが疑われ、当院を紹介受診となった。

心身の一般所見：身長 171.2 cm、体重 59.1 kg、BMI 20.2 kg/m<sup>2</sup>。血圧 93/59 mmHg であった。エプワース眠気尺度は 21/24 と日中の過度の眠気を認めた。睡眠習慣は、リズムの乱れはなく 7 時間以上の睡眠時間を確保するようにしていたが、日中の眠気と居眠りが持続していた。喫煙や飲酒はなかった。情動脱力発作、睡眠麻痺、入眠時幻覚はいずれも認めなかった。

臨床検査成績：心電図は心拍数 50 bpm、心房調律あり。血液検査成績は、RBC 451 万/μl、WBC 6280 /μl、Hgb 14.2 g/dl、Plt 22.1 万/μl、MCV 91.5 fl、AST 16 IU/l、ALT 14 IU/l、γ-GTP 21 IU/l、T-chol 134 mg/dl、LDL 80 mg/dl、TG 61 mg/dl、BS 81 mg/dL、UN 11.0 mg/dl、Cre 0.89 mg/dl、TSH 1.1247 μIU/ml、freeT3 2.97 pg/ml、freeT4 1.17 ng/ml であった。頭部 MRI は本人が希望せず、実施できなかった。

入院時の PSG (表 1・図 1)、MSLT (表 2)：PSG は AASM 判定マニュアル ver. 2.5 で判定した。睡眠状態は TIB 546.0 分 (9 時間 6.0 分)、SPT 530.5 分 (8 時間 50.5 分)、TST 507.5 分 (8 時間 27.5 分)、睡眠効率 (TST/TIB) 92.9 %、WASO 4.3 %、入眠潜時 14.0 分、REM 睡眠潜時 121.5 分、Stage N1 9.9 %、Stage N2 52.8 %、Stage N3 14.6 %、Stage R 22.8 %、REM cycle 4 回であった。睡眠中の呼吸状態は Apnea Hypopnea Index (AHI) 2.5 回/時間で無呼吸のタイプは中枢性が 1 回、閉塞性が 2 回、混合性 0 回、低呼吸が 18 回であった。末梢血酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) は覚醒時 97 %、睡眠中は平均 97 %、最低 93 %。Arousal index 12.4 回/時間だった。Periodic Limb Movement (PLM) index は 0.3 回/時間であった。REM sleep without atonia (RWA) は観察されなかった。反復睡眠潜時検査 (MSLT) (表 2) は平均入眠潜時が 5.20 分で、入眠時 REM 期 (SOREMP) は 5 回中 1 回出現した。

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。  
記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式 4 の 3】

症例番号

**鑑別診断**：International Classification of Sleep Disorders 3rd (ICSD-3) をもとに鑑別診断を行った。PSG の結果 AHI 2.5 回/時間、最低 SpO<sub>2</sub> 93 %、PLM index 0.3 回/時間と正常範囲のために睡眠呼吸障害および周期性四肢運動障害の合併は否定された。他にも睡眠中の睡眠妨害現象は認めなかった。睡眠日誌からは睡眠時間は 7-8 時間確保できており、週末に大きな睡眠時間の延長は認めず、睡眠不足症候群は否定的であった。採血上も甲状腺機能は正常で、他に眠気の出現する身体疾患や内服薬はなかった。特発性過眠症確定診断のため、指導医と本症例について検討し、3 ヶ月以上毎日続く日中の過度の眠気があること、PSG で SOREMP を認めず、また他の疾患が除外されていること、睡眠時間が平日、休日ともに 7-8 時間と正常範囲内であること、MSLT にて入眠潜時 5.20 分と短く SOREMP の出現が 5 回中 1 回であったことから、特発性過眠症と診断した。

**治療方法**：特発性過眠症確定診断後のモダフィニル処方医師である申請者が、効果と副作用について説明し、理解を得た上でモダフィニルを 100 mg から開始した。

**治療効果を含めた経過**：モダフィニル 100 mg 内服で日中の眠気は軽減し、仕事上の居眠りは目立たなくなった。睡眠不足症候群の可能性については常に留意し、十分な睡眠時間を確保するよう睡眠衛生指導をしつつ外来にて投薬治療を継続した。転居により他院へ転医し、終診となった。

**本症例とのかかわり**：申請者は担当医として、初診時、PSG・MSLT 検査時、再診時に診療および検査に立ち会っている。

上記の症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。

西暦 xxxx 年 xx 月 xx 日

日本睡眠学会総合専門医、日本睡眠学会専門医、日本睡眠学会指導医、  
日本睡眠学会歯科専門医、日本睡眠学会専門検査技師、日本睡眠学会専門心理師、  
日本睡眠学会専門睡眠医療看護師、所属診療科の長（該当する事項を○印で囲む）

医療機関と診療科名および職名 ●●

学会認定証の番号 ●●

氏名

印

審査員のコメント

審査結果：合格、保留、不合格

担当審査員の氏名

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。

記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

【様式 4 の 4】

症例番号

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表 1 PSG 結果

|                                                      |                      |
|------------------------------------------------------|----------------------|
|                                                      | 診断 PSG               |
| 記録開始時間 / 記録終了時間                                      | 20:33:07 / 6:44:20   |
| 消灯 / 点灯                                              | 21:35:44 / 6:41:44   |
| 睡眠効率 TST/TIB×100%                                    | 92.9 %               |
| 全就床時間 (TIB)                                          | 546.0 分              |
| 睡眠期間 (SPT)                                           | 530.5 分              |
| 総睡眠時間 (TST)                                          | 507.5 分              |
| 中途覚醒時間 (WASO) (%SPT)                                 | 23.0 分 (4.3 %)       |
| 睡眠ステージ REM (%TST)                                    | 115.5 分 (22.8 %)     |
| 睡眠ステージ N1 (%TST)                                     | 50.0 分 (9.9 %)       |
| 睡眠ステージ N2 (%TST)                                     | 268.0 分 (52.8 %)     |
| 睡眠ステージ N3 (%TST)                                     | 74.0 分 (14.6 %)      |
| 睡眠潜時 (Sleep latency)                                 | 14.0 分               |
| REM 潜時 (REM latency)                                 | 121.5 分              |
| 無呼吸指数 (AI)                                           | 0.4 回/hr             |
| ↳閉塞性 OAI / 混合性 MAI / 中枢性 CAI                         | 0.2 / 0.0 / 0.1 回/hr |
| 低呼吸指数 (HI)                                           | 2.1 回/hr             |
| 無呼吸低呼吸指数 (AHI)                                       | 2.5 回/hr             |
| 覚醒反応指数 (arousal index)                               | 12.4 回/hr            |
| SpO <sub>2</sub> の平均値                                | 97 %                 |
| SpO <sub>2</sub> 低下指数 (3% oxygen desaturation index) | 1.0 回/hr             |
| 最低 SpO <sub>2</sub>                                  | 93 %                 |
| 周期性四肢運動指数                                            | 0.30 回/hr            |
| RWA                                                  | 0 epoch              |
| RWA 割合 (REM 中 RWA)                                   | 0.00 %               |
| 心電図異常                                                | 特記すべきことなし            |

※ TIB : Time in bed ※ SPT : Sleep period time ※ TST : Total sleep time

※ WASO : Wake after sleep onset ※ AI : Apnea Index ※ OAI : Obstructive Apnea Index

※ MAI : Mixed Apnea Index ※ CAI : Central Apnea Index ※ HI : Hypopnea Index

※ AHI : Apnea Hypopnea Index ※ RWA : REM sleep without atonia

【様式 4 の 4】

症例番号

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。  
記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

(図 1) 終夜睡眠ポリグラフ検査



睡眠ポリグラフ検査では総睡眠時間は 8 時間 27.5 分で SOREMP は認めない。AHI、PLM index は診断  
閾値下であった。

【様式 4 の 4】

症例番号

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。

※本資料は記載例です。  
記載内容をそのまま転記・複製せず、各症例の実際の診療・検査内容に基づいて作成してください。

(図・表は下の枠内に貼付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

(表 2) 反復睡眠潜時検査 (MSLT) 結果

|   | 記録開始時間 |    |     | 入眠時間 |     |     | REM 睡眠開始時間 |     |    | 記録終了時間 |     |     | TST |
|---|--------|----|-----|------|-----|-----|------------|-----|----|--------|-----|-----|-----|
| 1 | 9時     | 2分 | 15秒 | 9時   | 4分  | 3秒  | 9時         | 17分 | 3秒 | 9時     | 19分 | 3秒  | 15分 |
| 2 | 11時    | 1分 | 40秒 | 11時  | 4分  | 40秒 | 時          | 分   | 秒  | 11時    | 19分 | 40秒 | 15分 |
| 3 | 13時    | 3分 | 5秒  | 13時  | 7分  | 35秒 | 時          | 分   | 秒  | 13時    | 22分 | 35秒 | 15分 |
| 4 | 15時    | 2分 | 28秒 | 15時  | 8分  | 40秒 | 時          | 分   | 秒  | 15時    | 23分 | 40秒 | 15分 |
| 5 | 17時    | 1分 | 12秒 | 17時  | 11分 | 42秒 | 時          | 分   | 秒  | 17時    | 26分 | 42秒 | 15分 |

|        | 1 回 目 |     | 2 回 目 |    | 3 回 目 |     | 4 回 目 |     | 5 回 目 |     |
|--------|-------|-----|-------|----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| 入眠潜時   | 1分    | 48秒 | 3分    | 0秒 | 4分    | 30秒 | 6分    | 12秒 | 10分   | 30秒 |
| REM 潜時 | 13分   | 0秒  | -分    | -秒 | -分    | -秒  | -分    | -秒  | -分    | -秒  |

|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| 平均入眠潜時      | 5.20  | 分 |
| 平均 REM 睡眠潜時 | 13.00 | 分 |
| REM 睡眠出現回数  | 1     | 回 |

MSLT 検査では、平均入眠潜時が 5.20 分と短く、SOREMP は 5 回中 1 回の出現であったため、特発性過眠症の診断基準を満たした。

※ 診断根拠を示す 30 秒～2 分程度の図を必ず添付してください。